SONY®

3-061-174-**01**(1)

マリンパック

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

MPK-DVF3

はじめに

主な特長

本機はソニーのデジタルビデオカメラレコーダー DCR-TRV7、DCR-TRV9、DCR-TRV10、DCR-TRV20およびDCR-TRV900にお使いいただけるマリンパックです。

- 水深75mまでの撮影が可能。
- 水中での電源の入／切、録画開始／停止、オートフォーカスの入／切、フォトモード撮影（DCR-TRV9、DCR-TRV10、DCR-TRV20およびDCR-TRV900のみ）、ズームなどの操作が可能。
- LCDモニター搭載。

必ずお読みください

- 実際に水中で撮影する前に、水深1mくらいのところで、ビデオカメラレコーダーが正常に動作するか、またマリンパックに水漏れがないかを確認してから潜水を始めてください。
- 万一、マリンパックの不具合により水漏れ事故を起こした場合、内部機材（ビデオカメラレコーダー、バッテリーなど）の損害、記録内容および撮影に要した諸費用などの補償はご容赦ください。
- マリンパックおよび内部機器に対するソニー水中機材用損害保険をご用意しております。案内書をお読みのうえ、加入されることをおすすめします。



このマークはソニー（株）ビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は、純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

目次

準備

操作

その他

安全のために

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使い方をすると、火災などによる人身事故が起きるおそれがあり危険です。事故を防ぐためにつぎのことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わずに、お買い上げ店または ソニーサービス窓口に修理を依頼する**
- **万一異常が起きたら**

変な音やにおいがしたら、煙が出たら → **❶ 電源を切る** **❷ お買い上げ店または、ソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。


禁止

行為を禁止する記号


注意

行為を指示する記号



下記の注意事項を守らないと、事故により死亡や大けがの原因となります。

潜水中の使用は周囲の状況を把握し、安全に充分注意を払う

注意を怠ると、潜水事故の原因となります。


注意

万一、マリンパックに水漏れが発生した場合

浮上時の減圧時間を守り、周囲の状況に注意しながら浮上してください。


注意



下記の注意事項を守らないと、けがをすることがあります。

陸上で運ぶときに落とさない

けがの原因となることがあります。



衝撃を与えない

ガラス部分が割れて、けがの原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

この項目はバッテリー（乾電池および充電池）にのみ適用となります。







下記の注意事項を守らないと火災・破裂により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘアピン、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯、保管しない（ショートすることがあります）。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで充電したり、放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡れたバッテリーを充電したり、使用したりしない。





下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

- 火のそばや炎天下などに放置したり、充電しない。— 危険防止の保護回路が壊れることがあります。
- ハンマーなどでたたいたり、踏み付けたり、落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。
- 電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合には、ただちに医師にご相談ください。

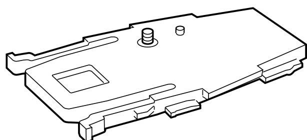


下記の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

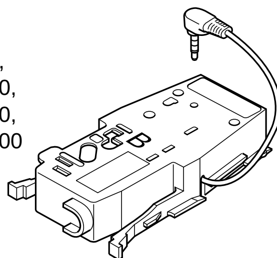
- 乾電池は＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい乾電池と使用した乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使わない。
- プラグの付いたバッテリーパックは、ぬれた手でさわらない（感電の原因となることがあります）。

付属品を確かめる

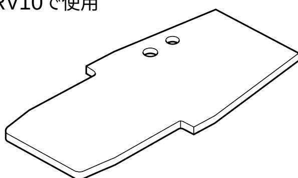
- **台座**A（1）
  DCR-TRV7で使用



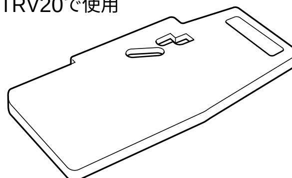
- **台座**B（1）
  DCR-TRV9,
  DCR-TRV10,
  DCR-TRV20,
  DCR-TRV900
  で使用



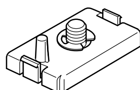
- **台座**B**用スペーサー（台座**C）（1）
  DCR-TRV10で使用



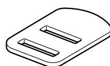
- **台座**D（1）
  DCR-TRV20で使用



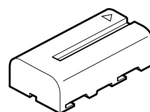
- **ネジプレート**（2）
  （台座B及びDに使用）



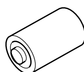
- **ネジ回し金具**（1）
  （台座Bに付属）



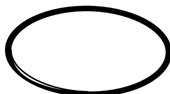
- **モニター用バッテリー**
  （NP-F330）（1）



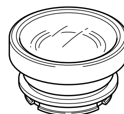
- **リチウム電池**CR2（1）



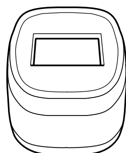
- O**リング**（1）



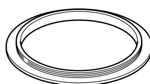
- **水中専用ワイドコンバージョンレンズ**（1）（VCL-MK2）



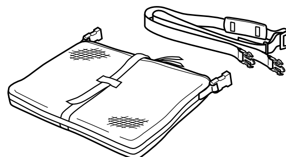
- **遮光フード**



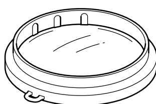
- **反射防止リング**（2）
  大：φ37mm
  小：φ30mm



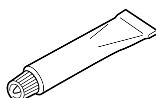
- **キャリングバッグ**（1）
- **キャリングベルト**（1）



- **カラーフィルター**（1）
  （VF-MK2）



- **シリコングリス**（1）



- **バッテリークッション**（1）
- **脱落防止用ひも**（3）

ビデオカメラレコーダーを準備する

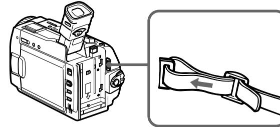
ビデオカメラレコーダーをマリンパックに取り付ける前に、次の準備を行ってください。イラストは限定のない限りDCR-TRV20です。

ご使用のビデオカメラレコーダーの機種によって準備の手順はちがいます。

お手持ちのビデオカメラレコーダーの取扱説明書も合わせてご覧ください。

1 ショルダーベルトをはずす

フィルター、コンバージョンレンズ、レンズフードなども取りはずしてください。



2 バッテリーを取り付ける

充分に充電したバッテリーパックを取り付けてください。

3 カセットを入れる

4 ビデオカメラレコーダーのレンズに反射防止リングを取り付ける

DCR-TRV7/TRV9/TRV20 － φ37mm（大）　DCR-TRV900 － 不要

DCR-TRV10 － φ30mm（小）

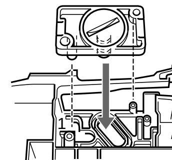
反射防止リングは強く締めすぎないようご注意下さい。（取りはずしにくくなることがあります）

5 台座を選択する

お使いのビデオカメラレコーダーの機種によって、使用する台座とネジプレートの取り付け位置が変わります。

下の表で、お使いのビデオカメラレコーダーに必要な台座の種類と、ネジプレートの取り付け位置（台座Ｂは1～3、台座Ｄは1のみ）をご確認ください。

	ネジプレート位置	ビデオカメラレコーダー
台座A	使用せず	DCR-TRV7
台座B	1	DCR-TRV9
	2	DCR-TRV900/TRV20
	3	DCR-TRV10
台座D	1	DCR-TRV20
	2	使用しません



台座Bのネジプレート取り付け位置

ご注意

DCR-TRV7をお使いの時は、台座Aのみ使用します。
台座B、Dおよびネジプレートは使用しません。

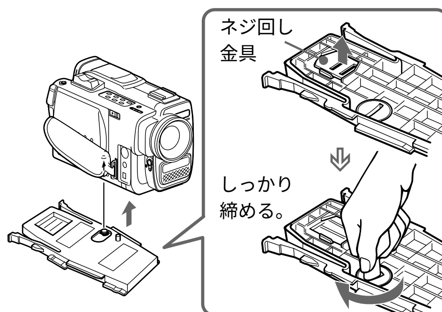
次のページへつづく

6　台座を取り付ける

DCR-TRV7 （台座Aを使用します）

DCR-TRV7の取り付け方

ビデオカメラレコーダーの三脚用ネジ穴に、台座Ａのネジ部をしっかりととめる



DCR-TRV9/TRV900 （台座Bとネジプレートを使用します）

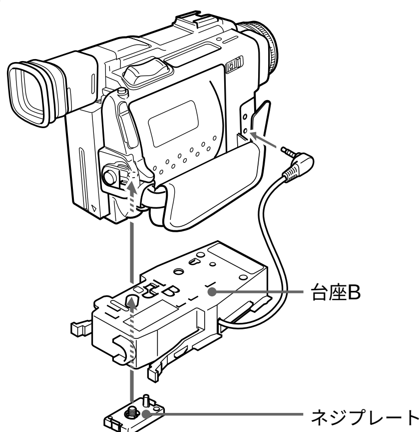
DCR-TRV9/TRV900の取り付け方

❶ 7ページの表から、お使いのビデオカメラレコーダーに合ったネジプレート位置を確かめる

❷ 台座Bの裏側「カチッ」というまでネジプレートをしっかりとはめ込む

❸ ネジプレートのネジを、ビデオカメラレコーダーの三脚用ネジ穴にしっかりととめる

❹ 台座BのAVケーブルを、ビデオカメラレコーダーの映像／音声端子へつなぐ



DCR-TRV10（台座Bと台座C、およびネジプレートを使用します）

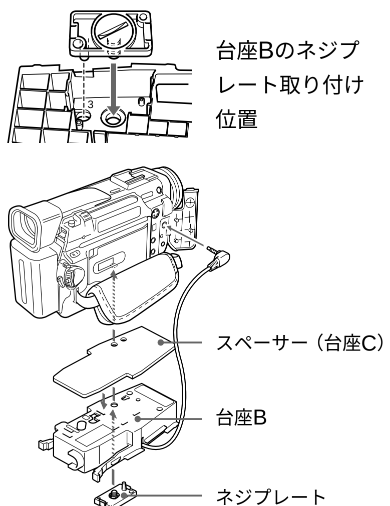
DCR-TRV10の取り付け方

❶ 台座Bにスペーサー（台座C）を取り付ける

❷ 台座Bのネジプレート取り付け位置3.にネジプレートを「カチッ」というまでしっかりとはめこむ

❸ ネジプレートのネジを、ビデオカメラレコーダーの三脚用ネジ穴にしっかりとととめる

❹ 台座BのAVケーブルを、ビデオカメラレコーダーの映像／音声端子へつなぐ



DCR-TRV20（台座Bと台座D、およびネジプレートを使用します）

DCR-TRV20の取り付け方

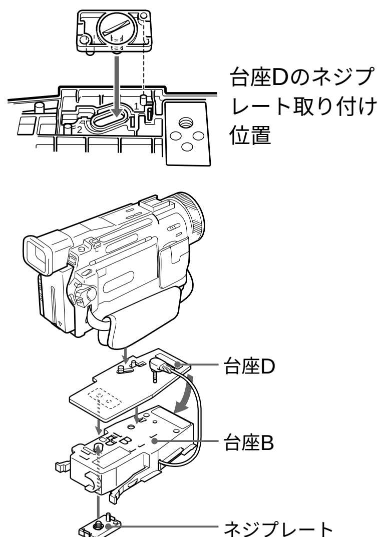
❶ 台座Dのネジプレート取り付け位置1.にネジプレートを「カチッ」というまでしっかりとはめこむ

❷ 台座Dのネジプレートのネジを、ビデオカメラレコーダーの三脚用ネジ穴にしっかりとととめる

❸ 台座Bのネジプレート取り付け位置2.にネジプレートをはめこむ

❹ ビデオカメラレコーダーに取り付けた台座Dのネジ穴に、台座Bに取り付けたネジプレートのネジをしっかりとととめる

❺ 台座BのAVケーブルを、ビデオカメラレコーダーの映像／音声端子へつなぐ



ビデオカメラレコーダーをマリンパックに取り付ける準備ができました。

実際に取り付ける前に、台座がビデオカメラレコーダーにしっかりと取り付けられているか確かめてください。

次のページへつづく

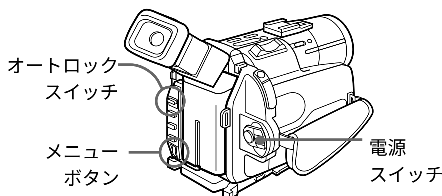
7　撮影の準備をする

マリンパックに取り付ける前に、ビデオカメラレコーダーを撮影可能な状態にします。

DCR-TRV7

撮影の準備をする

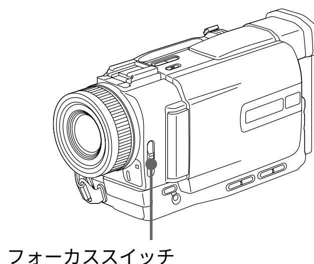
❶ 電源スイッチを「カメラ」にする
❷ メニューで「リモコン」を「入」にする
❸ 逆光補正、ナイトショット、ピクチャーエフェクト、プログラムAEなどの機能を「切」にする
❹ オートロックスイッチを上げ、「オート」にする
❺ メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし、画面表示ボタンを押す

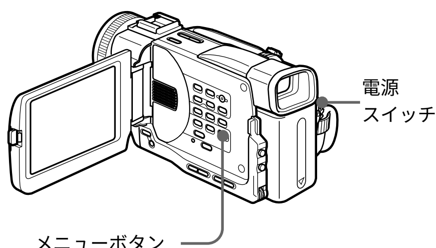


DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900

撮影の準備をする

❶ 電源スイッチを「カメラ」にする
❷ メニューで「リモコン」を「入」にする
❸ 逆光補正、ナイトショット、ピクチャーエフェクト、プログラムＡＥなどの機能を「切」にする
❹ フォーカススイッチを「自動」または「AUTO」にする
❺ メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし、画面表示ボタンを押す



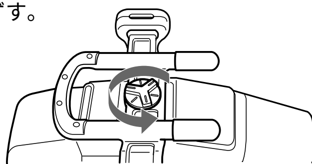


＊録画ランプの設定が切り替えられるビデオカメラレコーダーをお使いの時は、「切」にしてください。マリンパックに収納したときにランプが写りこむのを防ぐことができます。
詳しくは、お使いのビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

マリンパックを準備する

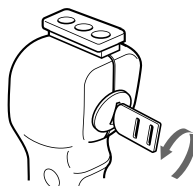
1 グリップをはずす

マリンパック底面のネジをゆるめてグリップをはずす。

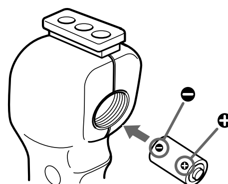


2 リチウム電池を入れる

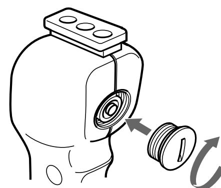
❶ 付属のネジ回し金具でネジをはずす。



❷ 付属のリチウム電池（CR2型1個）を入れる。(⊕と⊖の向きをまちがえないように、ご注意ください。)
乾電池ケース内の⊕⊖の表示に合わせて、必ず⊖側から入れてください。



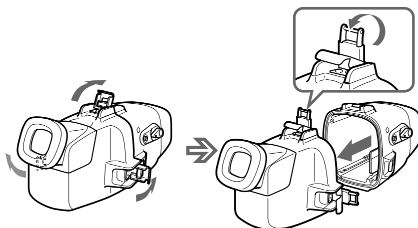
❸ ネジをしっかりと締める。



3 マリンパックを開ける

3か所のバックルをはずして、マリンパックを開ける。

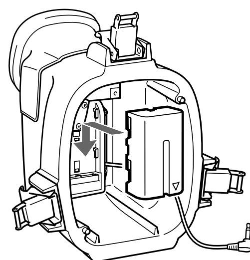
バックルを開けたときにファインダー方向に金具を持ち上げると、バックルが止まります。



次のページへつづく

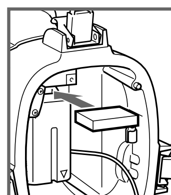
4 モニター用バッテリーを取り付ける

充分に充電した付属のモニター用バッテリー（NP-F330）を後ハウジングに取り付けます。



ご注意

強い衝撃を与えるとモニター用バッテリーがはずれることがあります。付属のバッテリー用クッションを図のように差し込んでください。



モニター用バッテリーパックNP-F330について

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは

“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。本機はモニター電源として“インフォリチウム”バッテリーLシリーズを使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。“インフォリチウム”バッテリーLシリーズには InfoLITHIUM L マークがついています。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

- 本機のLCDモニターは“インフォリチウム”バッテリーの通信機能に対応していません。
- ご使用にあたって、付属のバッテリーパックNP-F330を充電できるACアダプター／チャージャー（インフォリチウム“L”シリーズが充電できるもの・別売）をご用意ください。
- 本機は別売りの“インフォリチウム”バッテリー（Lシリーズ）、NP-F530／F550でもご使用いただけます。
- 満充電状態のNP-F330で連続撮影できる時間は約6時間ですが、撮影状況によって使用可能時間は異なります。使用する環境によっては、使用可能時間が短くなります。



リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：

社団法人電池工業会　TEL：03-3434-0261

ホームページ：http://www.baj.or.jp

LCDモニターについて

- LCDモニターは、ビデオカメラレコーダーをマリンパックに取り付け、電源を入れてから映ります。
- LCDモニターに表示される電池残量時間は、ビデオカメラレコーダーに取り付けてあるバッテリーの残量時間です。LCDモニターの使用可能時間ではありません。

ビデオカメラレコーダーを取り付ける

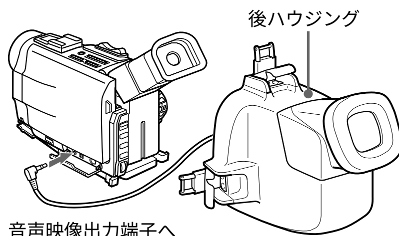
1 マリンパックとビデオカメラレコーダーを接続する

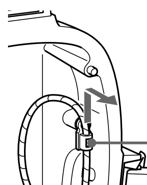
DCR-TRV7

モニターコードの接続

❶ モニターコード止めをはずす

❷ マリンパックのモニターコードを、ビデオカメラレコーダーの音声映像出力端子につなぐ





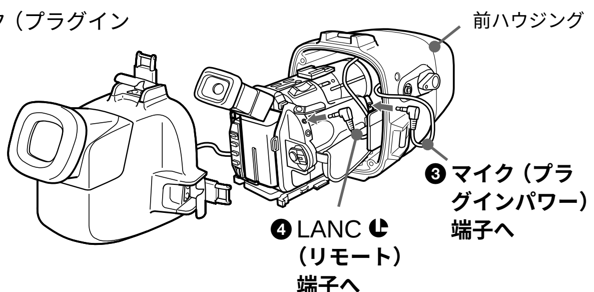
モニターコード止め

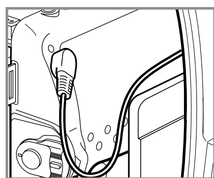
上にスライドさせてから手前に引くとはずれます。

リモートコードとマイクコードの接続

❸ マイクコードをマイク（プラグインパワー）端子につなぐ

❹ リモートコードをLANC ⏎（リモート）端子につなぐ





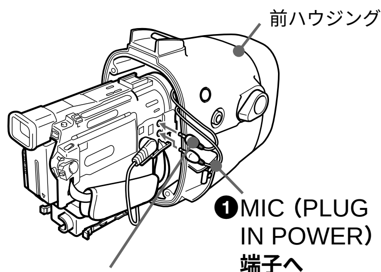
コードがひっかかったり、ねじれたりするのを防ぐため、プラグ類はイラストのような向きに差してください。

DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900

リモートコードとマイクコードの接続

❶ マイクコードをMIC（PLUG IN POWER）端子につなぐ

❷ リモートコードをLANC ⏎（リモート端子につなぐ

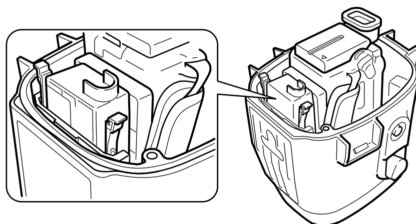


次のページへつづく

ビデオカメラレコーダーを取り付ける（つづき）

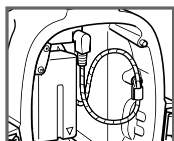
2 マリンパックに取り付ける

ビデオカメラレコーダーを取り付けた台座を、マリンパックのガイドレールに合わせてスライドさせ、「カチッ」と音がするまで差込む

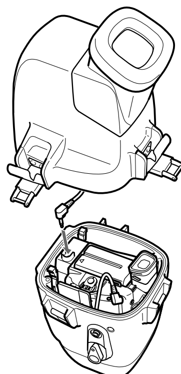


3 モニターコードをつなぐ（DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900のみ）

モニターコードを台座Bの端子に接続します。



モニターコードは本体のプラグホルダーにささった状態で出荷されています。

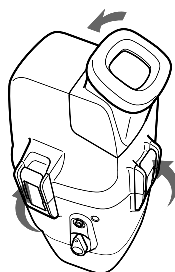


4 バックルを締める

前後のハウジングをしっかりと押さえながら、3か所のバックルを締める。

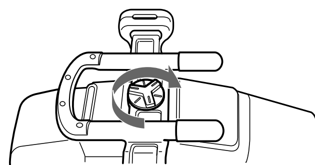
このとき、コードをはさまないように充分ご注意ください。故障や浸水の原因になります。

Oリングの取り扱いについて（P.22）もご参照ください。



5 グリップを取り付ける

ネジをしっかりと締めてください。



これでマリンパックの準備は完了です。

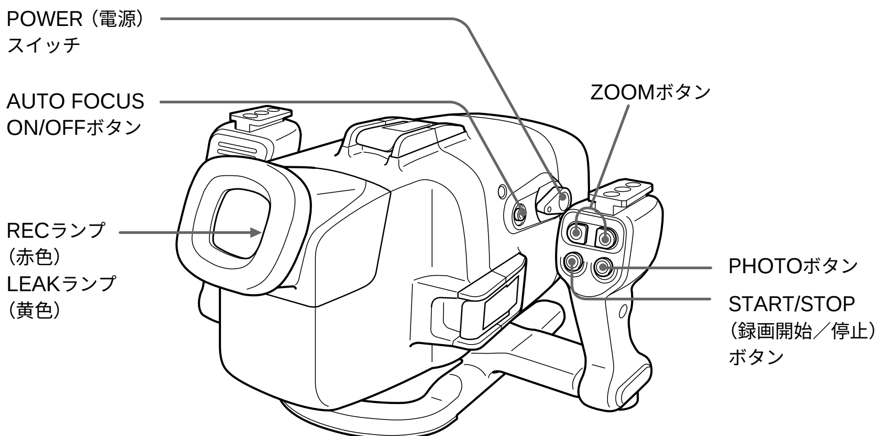
潜る前に、必ず動作チェックと浸水テスト（P.18）を行ってください。

撮影する

水中撮影の準備が整いました。

ビデオカメラをもって潜行するときは、周囲の状況に充分注意し、ゆっくりと潜行します。

マリンパックにはできるだけ衝撃を与えないようにしてください。



1 POWER**スイッチを下げる**

ビデオカメラレコーダーの電源が入り、LCDモニターに映像が映る。

2 START/STOP**ボタンを押す**

RECランプが点灯し、録画が始まる。もう一度押すと止まる。

ズームする

ZOOMボタンのT側を押しつづけると、徐々に望遠になり、W側を押しつづけると徐々に広角になります。ズームの速さを変えることはできません。

静止画を撮る（DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900のみ）

フォトボタンを押すと、静止画像を記録することができます。

（フォトボタンを軽く押して、画像を確認することはできません。DCR-TRV10/TRV20/TRV900では、メモリーフォト撮影はできません。詳しくはビデオカメラレコーダーの取扱説明書をご覧ください。）

フォーカスを固定する

AUTO FOCUS ON/OFFボタンを押し、オートフォーカス機能を切る（OFFにする）と、被写体とカメラの間を魚などが通ってもフォーカスがズレません。もう一度押すとオートフォーカスに戻ります。

ご注意

本機はグリップとマリンパックを赤外線で結び、操作を行っています。赤外線の受光部と発光部の間を指などでさえぎらないようにご注意ください。

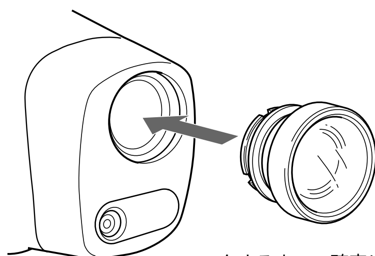
次のページへつづく

付属のアクセサリを使う

ワイドコンバージョンレンズ

付属のワイドコンバージョンレンズは水中撮影専用です。

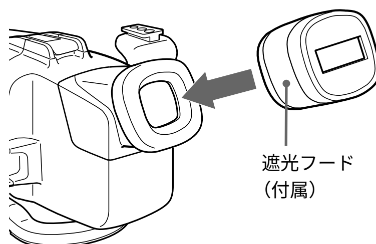
ワイドコンバージョンレンズを使うと、被写体は小さくなりますが、撮影できる範囲は広がります。



ロックするまで、確実にはめ込みます。

遮光フード

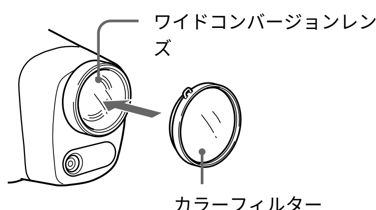
光の反射などにより、LCDモニターが見えにくい時は、付属の遮光フードを取り付けてください。



カラーフィルター

付属のカラーフィルターはワイドコンバージョンレンズの上から装着します。

水中の被写体は、青みがかった色彩になります。より実際の色に近づけて撮影したときにお使いください。

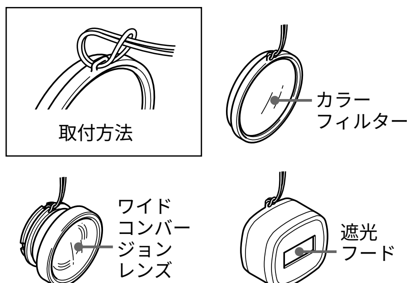


ワイドコンバージョンレンズ、遮光フード、カラーフィルターは、水中でも脱着できます。
レンズやフィルターの中に気泡が残った時は、水中で脱着して、気泡を追い出してください。

脱落防止用ひも

ワイドコンバージョンレンズ、遮光フード、およびカラーフィルターに、図のように取り付けます。

水中や陸上で脱着した時の落下や紛失を避けるために、脱落防止用ひもは必ず取り付けてください。

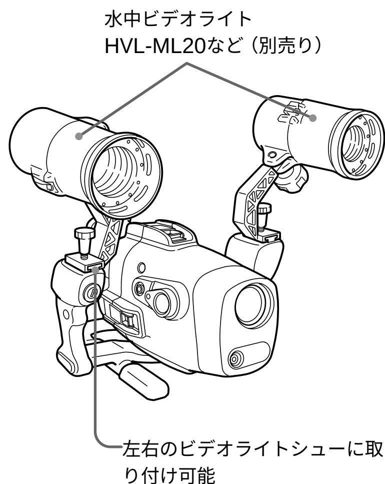


別売のアクセサリを使う

水中ビデオライト

水深の深いところや岩棚の下など、太陽光では明るさが不充分なところでの撮影には別売りの水中ビデオライト（HVL-ML20など）のご使用をおすすめします。

本機は、左右グリップ上部のビデオライトシューにビデオライトを取り付けることができます。



水中撮影について

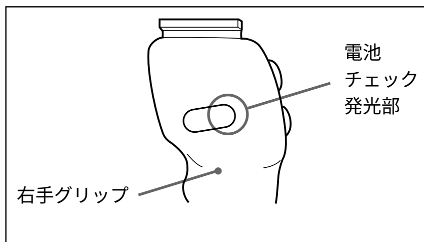
ダイビングの前に

水中撮影をする前に、水深1m程度のところで正常に動作するか、また水漏れがないか確認してから潜水を始めてください。

カムコーダーは、ダイビングの前にあらかじめマリンパックに取り付け、船上や海岸などでのマリンパックの開閉は、できるだけ避けてください。カムコーダーを取り付けるときは、できるだけ湿気の少ないところで行ってください。

マリンパックをもってダイビングをする前に、もう一度確かめてみましょう。

- □ バッテリーは充分に充電されていますか？（マリンパック、ビデオカメラレコーダー両方）
  - バッテリーはできるだけ容量の多いものをお使いください。また予備のバッテリーを準備することをおすすめします。
- □ ビデオテープの残量はありますか？
- □ Oリングに傷やひび割れはありませんか？
- □ マリンパックの前後のハウジングの間に、コード やケーブル、髪の毛などのはさみこみはありませんか？
- □リチウム電池CR2の残量は充分ですか？
  - リチウム電池CR2の残量が充分にあるとき、ズームボタンやPHOTOボタン、スタート/ストップボタンなどを押すと、押している間グリップのフラッシュランプが点灯します。残量確認の目安としてお使いください。
    点灯しない時はリチウム電池CR2を交換してください。予備のリチウム電池CR2を用意しておくことをおすすめします。



水中撮影の条件

水の中は、水深、水の透明度、光線の状態などの影響を受けるため、陸上とは異なった撮影条件になっています。以下の基本的な条件をよく理解して、楽しいビデオプログラムを制作してください

撮影に適した時間

太陽が真上にある午前10時から午後2時頃までが、撮影に最も適した時間です。

太陽の光が届きにくい場所での撮影や夜間の撮影には、強力な水中ビデオライトをお使いください。

水中での物の見えかた

水中では水の屈折率が大きいため、陸上より約1/4距離が近くに、また実際より物が1割ほど大きく見えます。この現象は、人間の目のレンズだけでなく、ビデオカメラのレンズにとっても同じです。水中ではレンズの撮影画角（画面に入る範囲）が狭くなりますので、もともと広い範囲が写せるワイドコンバージョンレンズ（付属）の使用が有効です。

上手な撮影姿勢

安定した姿勢で撮影してください。ちょっとしたゆれも、後でテレビ画面で見ると拡大され、見づらい映像になってしまうことがあります。

ビデオカメラレコーダーはできるだけゆっくり動かしてください。被写体の方が動いてくれますので、いろいろなテクニックを使わず、じっと構えているだけでも、魅力的なプログラムを作ることができます。

ダイビングのときは

水中撮影をしていると、つい夢中になり深度や時間などへの注意を怠りがちです。

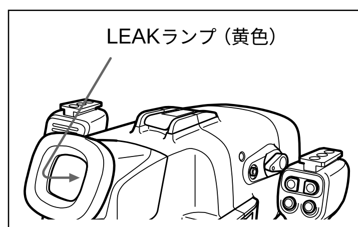
潜水時間や深度など、基本的な潜水ルールは必ず守ってください。

浸水したときは

マリンパックは、防水に充分に配慮して設計されていますが、万一浸水したときは、LEAK（浸水警告）ランプ（黄色）が点滅します。

このときは、マリンパックをできるだけ水平に保ち、浮上時のスピード、減圧時間を守って浮上してください。

浮上後はマリンパックをやわらかい布などで拭いてください。



マリンパックを開け、リモートコードを抜くとLEAKランプは消えます。

浸水したり、ビデオカメラレコーダーに水がかかったときは、できるだけ早くお近くのソニーサービス窓口にお持ちください。

万一の事故に備えて、水中機材用損害保険へのご加入をおすすめします。

ご使用後は

- マリンパックを海で使用したときは、バックルを開ける前に真水に30分から1時間程度つけて、海水の塩分を除去してしてください。
- 海で長時間使用したときは、ソニーサービス窓口でビデオカメラレコーダーの点検されることをおすすめします。

ビデオカメラレコーダーを取りはずす

最初にマリンパックを水道水または真水で洗い、柔らかい布で水滴を拭き取ってから開けてください。このとき、体や毛髪に付いた水滴、ウェットスーツのそで口から出る水がビデオカメラレコーダーにかからないようにご注意ください。

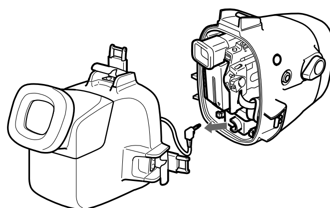
1 グリップをはずす

2 マリンパックを開ける

3か所のバックルをはずしてマリンパックを開ける。

DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900

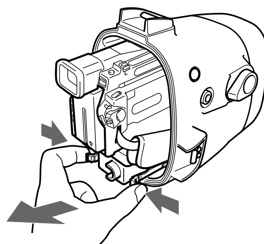
モニターコードを台座Bからはずす。



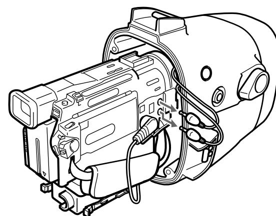
3 台座を引き出す

台座の両側をつまんで水平に引き出す。

台座を引き出すときに、ケーブル類を無理に引っぱらないようご注意ください。



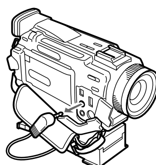
4 コード類をはずす



5 モニターコードをはずす

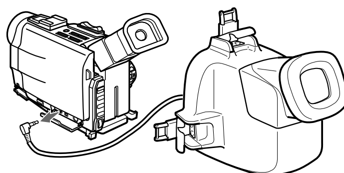
DCR-TRV9/TRV10/TRV20/TRV900

台座BのAVケーブルを、ビデオカメラレコーダーの映像／音声端子からはずす。



DCR-TRV7

モニターコードをビデオカメラレコーダーの映像／音声端子からはずす。



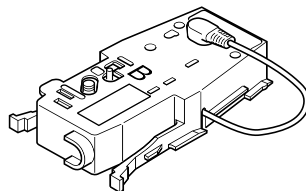
6 台座を取りはずす

ネジ回し金具でネジプレートをゆるめ、台座からビデオカメラレコーダーを取り外す。

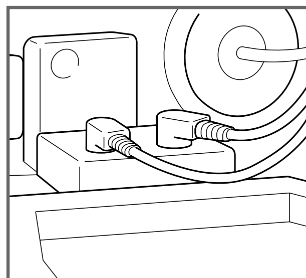
7 モニター用のバッテリーを取りはずす

台座とケーブル、プラグ類の収納

- 台座BのAVケーブルは台座のホルダーに差しておく。



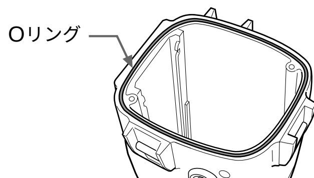
- 本機のリモコンプラグとマイクプラグは、前ハウジング内側のコードホルダーに差しておく。



Oリングについて

本機はOリング（オーリング）を使用して防水性を保っています。Oリングの機能を充分に生かすため、次の点にご注意ください。

Oリングの取り扱い方が不適切だと浸水の原因になります。



Oリングのメンテナンス

Oリングの傷やひび割れは、マリンパック内部への浸水の原因になります。マリンパックを使用するときは毎回必ず事前にOリングのチェックをおこない、表面に傷がないか、またゴミやほこり等の付着がないかを確かめてください。

- Oリングは指ではずしてください。先のとがったものや金属などは、マリンパックの溝に傷をつけるおそれがありますので、使用しないでください。
- Oリングを取り付けるときは、ねじれがないようにご注意ください。
- Oリングの表面にはいつも薄くシリコングリスがついているようにしてください。グリスはOリングを保護し、磨耗を防ぎます。
- シリコングリスは指で薄く均一に塗るか、Oリングと少量のシリコングリスをビニール袋に入れ、両手で丁寧にもみこむようにしてください。紙や布は、繊維が付着することがありますので使わないでください。

シリコングリスはお近くのソニーサービス窓口でお求めいただけます（部品番号2-115-921-01）。

異物のはさみこみに注意

前後のハウジングを合わせる前に、Oリングの表面とマリンパックの溝にゴミや砂、毛髪などがついていないことを確かめてください。浸水の原因となることがあります。

前後のハウジングを合体するときは

Oリングが溝からはずれないことを確認してから前後のハウジングを合わせてください。Oリングをはさみ込むと、Oリングに傷が付くだけでなく、マリンパック内部への浸水の原因にもなります。

Oリングの耐用年数

マリンパックの使用頻度や保存の状態によって変わりますが、一年程度です。

Oリングは、お近くのソニーサービス窓口でお求めいただけます（部品番号3-977-362-01）。

Oリングの保管について

予備のOリングは、梱包箱に入れたまま直射日光のあたらない涼しい場所に保管してください。重いものをのせたり、折り曲げたりしないでください。

取り扱い上の注意

ご使用後は

マリンパックに塩分が付いたままにしておくと、金属部分がさびたり、操作つまみの動きが悪くなったりします。また、塗装の傷から海水が入り込むと塩分でマリンパック本体の金属部分がさびたり、塗装が剥離したりすることがあります。海中撮影後は、バックルをはずす前にマリンパックを柔らかい布などで充分にふき、水道水または真水に30分程度浸して、マリンパック本体やフィルター、ワイドコンバージョンレンズに付いた塩分を充分に取り除いてください。

水洗いした後は、マリンパックの内部や収納していたビデオカメラレコーダーを、乾いたやわらかい布でよく拭き、水分を取ってください。

＊上記のお手入れは、マリンパックをご使用のたびに必ず行ってください。

マリンパックを開けるときやグリップの電池を交換するときは、髪の毛やウェットスーツの袖口などからの水滴の落下に気をつけてください。

高温多湿な場所や炎天下でのご使用は避けてください。結露やビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。やむを得ず、直射日光のあたる場所に置く場合は、タオルなどを上からかけてマリンパックとビデオカメラを保護してください。

保管するときは

- Oリングにシリコングリスを薄く塗って溝にきちんと入れ、風通しのよい涼しいところに置いてください。バックルは締めないでください。
- 極端に温度の高い場所や低い場所、湿気の多い場所などでの保管は避けてください。また、ナフタリン、樟脳などと一緒に保管すると、本機をいためることがありますので避けてください。

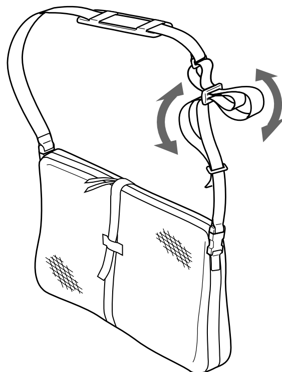
マリンパックの運搬について

ビデオカメラレコーダーは、マリンパックから取り外してください。取り付けたまま運搬すると、ビデオカメラレコーダーの故障の原因になります。

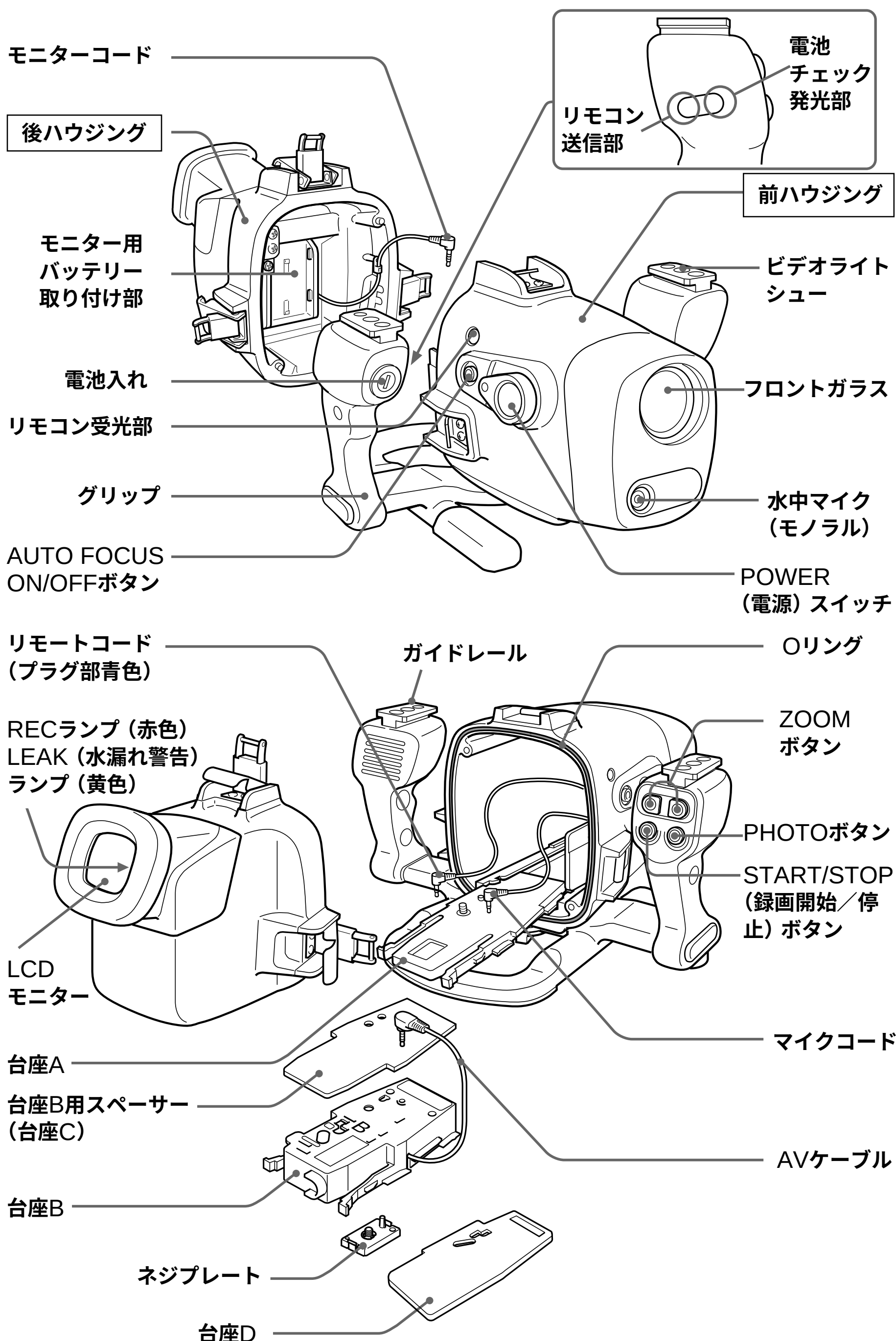
付属のキャリングバッグについて

キャリングベルト（付属）を取り付け、ベルトの長さを調節してください。

運搬するときは、衝撃や傷などを避けるため、マリンパックをタオルなどでくるむことをおすすめします。



各部のなまえ



モニターコード
後ハウジング
モニター用
バッテリー
取り付け部
電池入れ
リモコン受光部
グリップ
AUTO FOCUS
ON/OFFボタン
リモコン
送信部
電池
チェック
発光部
前ハウジング
ビデオライト
シュー
フロントガラス
水中マイク
（モノラル）
POWER
（電源）スイッチ
リモートコード
（プラグ部青色）
ガイドレール
Oリング
ZOOM
ボタン
RECランプ（赤色）
LEAK（水漏れ警告）
ランプ（黄色）
PHOTOボタン
START/STOP
（録画開始／停
止）ボタン
LCD
モニター
マイクコード
台座A
台座B用スペーサー
（台座C）
AVケーブル
台座B
ネジプレート
台座D

主な仕様

材質

アルミニウム合金、ガラス、プラスチック（ABS、PC）

防水構造

Oリング圧着式、3バックル

耐圧

水深75 mまで

水中マイクロホン

コンデンサーマイクロホン（モノラル）

外部から操作可能な機能

電源入／切、録画開始／停止、オートフォーカス入／切、電動ズーム

フォト撮影（DCR-TRV9、

DCR-TRV10、DCR-TRV20、DCR-TRV900）

最大外形寸法

約312×212×318 mm

（幅/高さ/奥行き）

質量

約4.4 kg（本体のみ）

付属品

台座A、B、D（各1）

台座B用スペーサー（台座C）（1）

ネジプレート（2）

ネジ回し金具（1）

ワイドコンバージョンレンズ（1）

カラーフィルター（1）

モニター用バッテリー（NP-F330）（1）

リチウム電池CR2（1）

シリコングリス（1）

Oリング（1）

遮光フード（1）

反射防止リング（2）

脱落防止用ひも（3）

バッテリークッション（1）

キャリングバッグ（1）

キャリングベルト（1）

取扱説明書（1）

保証書（1）

ソニーご相談窓口のご案内（1）

水中機材用損害保険のご案内（1）

別売りアクセサリー

水中ビデオライト（HVL-ML20）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますがご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 保証書は日本国内のみ有効です。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

耐水圧試験および耐水圧試験に関わる修理には日数がかかります。また、ご要望により耐水圧試験を行う場合は、有料となります。

当社ではマリンパックの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

● 型名：MPK-DVF3

● 故障の状態：できるだけ詳しく

● お買い上げ日

Sony online

http://www.world.sony.com/

「Sony online」は、インターネット上のソニーのエレクトロニクスとエンターテインメントのホームページです。

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

ソニー株式会社〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

- ナビダイヤル……………… 0570-00-3311
  （全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます）
- 携帯電話・PHSでのご利用は… 03-5448-3311
- Fax ……………………………… 0466-31-2595

受付時間：
月～金
9:00～
20:00、
土・日・祝日
9:00～
17:00